

概要

【静岡県】

- 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 7月13日現在、自衛隊は、約1,120名の態勢をもって、被災現場に約430名、救助犬2頭、重機14両、及びドローン3機を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。

【島根県】

- 7月7日（水）、山陰地方における大雨のため、県道23号が土砂や倒木により通行困難となったことから、同日1935、島根県知事からの道路啓開に係る災害派遣要請を受理。
- 道路啓開が終了したことから、7月8日（木）1330、島根県知事からの災害派遣撤収要請を受理し、活動終了。

【熊本県・宮崎県・鹿児島県】

- 7月10日（土）早朝、鹿児島県、宮崎県及び熊本県に大雨特別警報が発令。現地の被害発生状況を踏まえ、自衛隊法第83条第2項ただし書きに基づく自主派遣として、車両、ドローン及びヘリによる情報収集活動を実施。

活動実績

1 人命救助活動等【7月3日～12日：静岡県】

- 被災現場における活動人員等：延べ約4,160名
- 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）、第1戦車大隊（駒門）、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等
- 使用装備：重機14両、ヘリ（UH-1）2機、全天候型ドローン7機（最大時）、災害救助犬5頭（最大時）等
- 救助実績：9名（うち5名について警察により死亡を確認）
- 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、計約350mを啓開

2 道路啓開【7月7日～8日：島根県】

- 被災現場における活動人員等：延べ約30名及び車両8両
- 活動部隊：陸上自衛隊第13偵察隊（出雲）
- 活動実績：県道23号線の道路上に堆積した土砂及び倒木等を除去し、約55mを啓開

3 情報収集活動【7月10日：熊本県・宮崎県・鹿児島県】

- 被災現場における活動人員等：約100名
- 活動部隊：陸上自衛隊西部方面航空隊（高遊原）、第8通信大隊（北熊本）、第8施設大隊（川内）、航空自衛隊西部航空警戒管制団（春日）等
- 活動実績：車両1両、ドローン4機及びヘリ4機による情報収集活動、連絡員の派遣（16か所、約50名）

本日（13日）の活動

【静岡県】引き続き、以下の活動等を実施

1 人命救助活動

- 0600以降、陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等の人員約360名により、災害救助犬2頭、重機14両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、ドーザ×9）を用いた人命救助活動等を実施。

2 情報収集等

- 全天候型ドローン3機により、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施。
- UH-1ヘリコプター×1機は現地部隊等の要求により速やかに飛行できる態勢を維持し、立川駐屯地において待機

3 連絡員の派遣

静岡県庁に5名、熱海市役所に5名、伊豆山現地本部に5名の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



要救助者の搜索活動



搜索のための道路啓開活動



重機による道路啓開



ドローンによる情報収集